

【責任者向けプログラム】

2023年度

サイバースペックス

サイバーセキュリティ企画演習

CyberSPEX

ご案内資料

2023年12月

独立行政法人情報処理推進機構

産業サイバーセキュリティセンター

CyberSPEX : Cyber Security Planning Exercise



サイバーセキュリティ企画演習 (CyberSPEX) とは



組織のサイバーセキュリティを推進する
責任者（マネジメント）層として必要な
企画立案スキルを習得するためのプログラムです。



責任者層として
知るべきサイバーセキュリティの
知識を獲得



サイバーセキュリティ推進のための
企画（体制、予算、ポリシーなど）
スキルを習得



経営層を説得する
考え方・ロジカルシンキングを習得

対象者

社会インフラ・産業基盤に関わる企業（ユーザー/ベンダー）・団体のサイバーセキュリティ推進する

- ・ **責任者（マネジメント）層の方（部課長クラス）**
- ・ **今後、責任者になる方**

演習の特徴

?

組織のサイバーセキュリティを推進する 責任者として、こんな悩みがありませんか？

- サイバー攻撃やインシデント管理、フレームワーク、BCPの考え方などについて知っておく必要がある
- 経営層から、組織のサイバーセキュリティの企画（体制、予算、ポリシーなど）から提言まで求められた
- 予算の獲得や人材の確保のため上層部との調整や交渉しないといけない



責任者として取り組むべきことの全体像や 企画・提言の進め方がわかる！

講義	ワークショップ	提言シミュレーション 演習	元経営者による 講義・アドバイス	ネットワーキング
サイバーセキュリティ企画の前提となる知識をインプット	講義内容を実践 サイバー攻撃を疑似体験	ケーススタディを通じた企画 役員会を想定した提言	経営層の考え方のインプット 実践的なアドバイスとフィードバック	サイバーセキュリティ専門家や社外のセキュリティ担当者との人脈形成

演習内容・スケジュール（予定）

1～2日目【講義・ワークショップ】と、3～4日目【演習】の2回に分けて、計4日間実施します。

前半の学びを踏まえ、自組織の状況や課題を見つめ直した上で、後半に臨んでいただけます。

日時	内容	目的
1日目 1/25(木)	AM 想定企業の説明/模擬プラントを用いたサイバー攻撃デモ	戦略提言のための想定企業と起こり得るサイバーインシデントを知る
	セキュリティフレームワーク概論	サイバーセキュリティ企画のためのナレッジを知る
	PM CSF(NIST Cyber Security Framework)を使ったワークショップ（経営者視点）	企業レベルでのセキュリティ評価方法を知る（経営者視点）
	セキュリティ企画作戦会議	仮想企業でセキュリティ企画を立案する（経営者視点）
2日目 1/26(金)	AM リスクアセスメント手法①工場ガイドライン	現場レベルでのセキュリティ評価方法を知る
	PM リスクアセスメント手法②CSF（現場視点）	現場レベルでのセキュリティ評価方法を知る
	セキュリティ企画作戦会議（現場視点）	仮想企業でセキュリティ企画を立案する
《 課 題 》		
3日目 2/8(木)	AM 経営経験者による講義	戦略立案のための視座を得る
	PM 企画書作成	企画の再構成と提言書作成
4日目 2/9(金)	AM/ PM 提言シミュレーション演習	企画の発表と講評

全日 10:00～18:00（休憩1時間）

※全4日間の日程の募集になります。
どちらかのみ受講は受け付けておりません。



越島 一郎

名古屋工業大学
名誉教授
ものづくりDX研究所 客員教授

- 1979年4月千代田化工建設に入社し、プロセス・エンジニア、アナリスト、エンジニアリング・マネージャとして複数のプロジェクト（水素プラントの設計・建設・運転、イラーイラ戦時下でのプラント建設からLNG受け入れ基地トレーニングシミュレータや宇宙ステーション「きぼう」搭載の画像取得装置の開発まで）に従事
- 1998年4月プロジェクトマネジメントを専門に教育する千葉工業大学に移動。
- 2008年9月より名古屋工業大学大学院 社会工学専攻 教授。2019年4月より現職。現在重要インフラ防御のための、安全とセキュリティの同時達成を目指した制御システムセキュリティBCP/BCM研究を実施し、その成果を制御システムセキュリティセミナーを通して産業界に提供している。



橋本 芳宏

名古屋工業大学 社会工学科
教授

- プロセス制御、運転支援が主な研究分野であるが、平成23年に経済産業省制御システムセキュリティ検討タスクフォースに参画以来、制御系の安全確保を中心にしたサイバーセキュリティ研究に従事。
- 守り切れないし、いざという時にとれるのは通信の遮断と自動システムを頼りにしない操業という観点で、安全確保だけでなく事業継続のためのサイバーセキュリティを検討。
- 計測自動制御学会プロセス塾講師、SIP重要インフラのセキュリティ人材育成委員、つるまいプロジェクト世話人などを歴任。

経営経験者

経営層の考え方を講義
役員会を模した提言シミュレーション演習にて実践的なアドバイスとフィードバック

加藤 哲夫

- 1998年 ソニーアメリカ バイスプレジデント
- 2003年 ソニーEMCS株式会社
マイクロデバイスセンター長
- 2006年 ソニーエンジニアリング株式会社
代表取締役社長
- 2015年 TKO代表

琉球大学工学部非常勤講師、名古屋工業大学
非常勤講師、中央大学 ビジネススクール非常勤
講師、東レ経営研究所 特別研究員、PHP研究
所 ゼミナール講師などを歴任

竹内 敬三

- 2010年 JX日鉱日石エネルギー株式会社
(現・ENEOS) 取締役副社長
- 2011年 鹿島石油株式会社 代表取締役社長
- 2013年 鹿島石油株式会社 顧問
- 2014年 E&Eリサーチ株式会社 設立、
同社代表取締役

芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科工学
マネジメント専攻教授などを歴任

募集要項



プログラム名	サイバーセキュリティ企画演習（CyberSPEX：Cyber Security Planning Exercise）
対象者	社会インフラ・産業基盤に関わる企業（ユーザー/ベンダー）・団体のサイバーセキュリティ推進する ・責任者（マネジメント）層の方（部課長クラス） ・今後、責任者層になる方 ※本プログラムは、日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的に設計されたプログラムです。 日本の社会インフラ・産業基盤に関わる企業に所属し、日本国籍を有することを条件とし、これらを満たさない場合、受講をお断りさせて頂く場合がございます。予めご了承ください。
日時	2024年 1月25日(木)～26日(金)、2月8日(木)～9日(金) 計4日間 全日10:00～18:00（休憩1時間） ※全4日間の日程の募集になります。どちらかのみ受講は受け付けておりません。
場所	独立行政法人情報処理推進機構 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス 8階
受講料	20万円（税込）※受講料には、交通費・食事代は含みません。
定員	20名 ※定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。 最少催行人数は6名です。
留意事項	サイバーセキュリティに係る課題を整理するため、自社の状況をお話しいただくことがございます。 受講者のご判断により、開示できる範囲でご対応ください。 なお、会社の状況等、機微な内容は参加者限りとするため、本演習に参加する受講者、講師、その他関係者には秘密保持誓約書にご署名いただきます。

募集期間

2023年度サイバーセキュリティ企画演習（2024年1月25～26日、2月8～9日開催）の募集期間は、**2024年1月15日（月）まで**と致します。
（募集定員に到達し次第、募集を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。）

お申し込み方法

WEB上の受講申込書に必要事項をご記入後、メールにてPDFをご送付ください。
※お申込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

申込みURL：

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberspex/2023.html>



お問い合わせ先



- 電話 : 03-5978-7554 (直通)
- 受付時間 : 平日 9:30-18:00
- メールアドレス : coe-promo-ap@ipa.go.jp
- 担当者 : お申込みに関すること・・・鈴木/北村
演習内容に関すること・・・河合/日向

※原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金は致しかねますので予めご了承ください。

【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本プログラムの申込のためにご提出頂いた個人情報の適切な管理に努めております。

ご提供頂いた個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲

(事務処理および講師への当日受講者リストの配布等) で利用させていただきます。

個人情報保護についての詳細は下記URLからご確認ください。

<https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html>

IPA

